学校番号	１１１

平成 31 年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２	年次	２
使用教科書	「新版世界史Ａ新訂版」　（実教出版）						
副教材等	「歴史風景観　世界史のミュージアム」　（東京法令出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

世界史Ａでは、歴史の大きな流れを近現代史中心に学びます。歴史はそれぞれの時代に生きた人々が作り出したもので、私たちはそこから様々な教訓を見出すことができます。また世界史は世界の民族の歴史、文化を学ぶことであり、国際社会の中で生きていくみなさんにとって重要で役立つものです。

２　学習の到達目標

世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察する。また、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる一員としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する一員としての責務を果たそうとする。	世界の歴史、特に近現代史から諸課題を見出し、世界史的視野に立って多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。さらに、その過程や結果を適切に表現する。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して、歴史的事象を追及する方法を身につける。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。
評価方法	授業態度 ノート提出　等	定期考査 授業態度 ノート提出　等	定期考査 授業態度 ノート提出　等	定期考査 授業態度 ノート提出　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第Ⅱ部　一体化する世界と日本	第2章 一体化に向かう世界と日本 ・ルネサンスと宗教改革 ・大航海時代 ・絶対王政の時代 ・西ヨーロッパ諸国の展開 ・東ヨーロッパ諸国の展開 ・近代ヨーロッパと世界貿易 ・イスラーム諸王朝の成熟 ・オスマン帝国とヨーロッパ ・明から清へ	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○ 	a: 大航海時代におけるヨーロッパ人の海外進出、ルネサンスや宗教改革などの動き、ヨーロッパの主権国家体制の成立に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:学習する内容に特質を見出し、世界商業の進展などと関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:学習する内容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:学習する内容についての基本的な事柄を、世界商業の進展などと関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

2学期		第3章 ヨーロッパ・アメリカの諸革命と世界の動向 ・産業革命 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命 ・ナポレオンとウィーン体制 ・1848年の革命 ・19世紀後半のイギリスとフランス ・19世紀後半のイタリアとドイツ ・東方問題と19世紀のロシア ・19世紀のアメリカ合衆国 ・西アジアの変動 ・南アジアの変動 ・東南アジアの変動 ・中華帝国の動揺 ・明治維新と東アジア ・東アジアの変革	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:１８世紀後期以降の西ヨーロッパとアメリカの諸革命と産業社会の成立、アジア諸国の内部で振興していた変化とヨーロッパの進出によるアジア・アフリカ・ラテンアメリカの変貌に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b:学習する内容について特質を見出し、１９世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:学習する内容に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:学習する内容についての基本的な事柄を１９世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
2学期	第Ⅲ部　地球社会と日本	第4章　現代社会のあゆみ ・急変する社会 ・帝国主義と世界分割 ・ヨーロッパ国際関係の緊張 ・第一次世界大戦とロシア革命 ・ヴェルサイユ体制と国際連盟 ・戦間期の欧米と日本 ・西アジア・インドの民族運動 ・東アジアの民族運動	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	a:帝国主義による世界分割と第一次世界大戦前後の世界の動向に対する関心を高め、意欲的に追求している。 b:総力戦としての第一次世界大戦が戦後世界に与えた影響について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:大衆社会の成立やアジアの民族運動に関する諸資料を収集し、適切に活用している。 d:学習する内容についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

3学期		・世界恐慌とニューディール ・ヒトラーとムッソリーニ ・満州事変からに中戦争へ ・ヨーロッパでの戦争 ・アジア・太平洋戦争（太平洋戦争）	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a：世界恐慌から第二次世界大戦に至る世界の動向への関心を高め、意欲的に追求している。 b：ファシズム勢力の台頭を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：総力戦がもたらした犠牲に関する諸資料を収集し、適切に活用している。 d：学習する内容についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査
		第5章 　第二次世界大戦前後の世界 ・国際連合と冷戦 ・ヨーロッパとアジアの冷戦 ・アジア諸国の独立 ・第三勢力の結集 ・多極化する世界 ・冷戦の終結と社会主義の変容 ・冷戦後の世界 ・21世紀の世界	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	a：米ソ冷戦、アジア・アフリカ諸国の独立、核兵器問題に対する関心を高め、意欲的に追求しようとしている。 b：ドイツと朝鮮半島の分断と米ソ冷戦終結について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c：米ソ冷戦、戦後日本、グローバル化と地域紛争に関する諸資料を収集し、適切に活用している。 d：学習する内容についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	授業態度 発問評価 提出課題 定期考査

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。